

特許庁アーキテクチャ標準仕様書 (別冊2) サービスインタフェース仕様 (URI・入出力XML構造)

平成31年3月(Ver.1.4)

特許庁

改定履歴

項番	版数	作成日/改定日	変更箇所	変更内容
1	1.2.1	平成29年8月1日	新規	
2	1.3	平成30年3月23日	表 1.1-1 出力XML構造:フローノードインスタンス状態提供	本冊の修正に伴い、備考欄の記載内容を修正。
3	1.3	平成30年3月23日	2.業務アプリケーション(サービス)	本冊における当該章関連規約構成の変更に伴い、当該章の構成の変更
4	1.3	平成30年3月23日	表 2.3-1 URI:業務アプリケーション(サービス)類型2Bのサービスインタフェース	項番1のURIにおける誤記の修正
5	1.3	平成30年3月23日	表 2.3-3 出力XML構造:伝達情報提供(業務キー指定) 表 2.3-4 出力XML構造:伝達情報提供(タイムスタンプ指定)	項番5の「伝達情報種別」を「伝達情報種別名」に変更
5	1.3	平成30年3月23日	入力XML例、出力XML例全般	「業務キー区分(2桁)」→「業務キー区分コード(3桁)」に変更し、例示も合わせて変更。
6	1.3	平成30年3月23日	表 2.2-1 URI:業務アプリケーション(サービス)類型2Bのサービスインタフェース	項番1のURIにおける誤記の修正
7	1.4	平成31年3月22日	表 1.1-2 URI:ビジネスフロー管理のサービスインタフェース2	表外にURIにおけるサービスインタフェース名に関する注釈を追加。
8	1.4	平成31年3月22日	表 2.1-3 出力XML構造:連携先業務キーの提供 リスト 3.1-2出力XML例:連携先業務キーの提供	連携元業務キー、連携先業務キーに関するXML構造の変更、要素名における誤記の修正。
9	1.4	平成31年3月22日	表 2.2-1 URI:業務アプリケーション(サービス)類型2Bのサービスインタフェース	表外にURIにおけるサービスインタフェース名に関する注釈を追加。
10	1.4	平成31年3月22日	表 3.1-2 入力XML構造:事件データ作成	事件データの説明における誤記を修正。
11	1.4	平成31年3月22日	表 3.1-3 入力XML構造:事件データ更新	事件データの説明における誤記を修正。 表外に「排他チェックに必要な情報」を含めることに関する注釈を追加。
12	1.4	平成31年3月22日	表 3.1-4 入力XML構造:事件データ削除	表の追加。
13	1.4	平成31年3月22日	表 3.1-5 出力XML構造:事件データ提供	事件データの説明における誤記を修正。 表外に「排他チェックに必要な情報」を含めることに関する注釈を追加。
14	1.4	平成31年3月22日	表 3.1-6 入力XML構造:書類データ作成	付随情報の説明における誤記を修正。
15	1.4	平成31年3月22日	表 3.1-7 入力XML構造:書類データ更新	付随情報の説明における誤記を修正。 表外に「排他チェックに必要な情報」を含めることに関する注釈を追加。
16	1.4	平成31年3月22日	表 3.1-8 入力XML構造:書類データ削除	表の追加。
17	1.4	平成31年3月22日	表 3.1-9 出力XML構造:書類データ提供	付随情報の説明における誤記を修正。 表外に「排他チェックに必要な情報」を含めることに関する注釈を追加。
18	1.4	平成31年3月22日	リスト 3.1-4 出力XML例:書類データ提供 リスト 3.1-1 出力XML例:書類データ更新 リスト 3.1-2 出力XML例:書類データ提供	Base64に関する改行の修正。 要素名における誤記の修正。

目次

1. ビジネスフロー管理	1
1.1 ビジネスフロー管理のサービスインタフェース	1
1.1.1 ビジネスフロー管理のサービスインタフェースのURI	1
1.1.2 ビジネスフロー管理のサービスインタフェースの入出力XML構造	3
1.1.3 ビジネスフロー管理のサービスインタフェースの入出力XML例	5
2. 業務アプリケーション(サービス)	7
2.1 業務アプリケーション(サービス) 類型1のサービスインタフェース	7
2.1.1 業務アプリケーション(サービス) 類型1のサービスインタフェースのURI	7
2.1.2 業務アプリケーション(サービス) 類型1のサービスインタフェースの入出力XML構造	8
2.1.3 業務アプリケーション(サービス) 類型1のサービスインタフェースの入出力XML例	9
2.2 業務アプリケーション(サービス) 類型2Bのサービスインタフェース	11
2.2.1 業務アプリケーション(サービス) 類型2BのサービスインタフェースのURI	11
2.2.2 業務アプリケーション(サービス) 類型2Bのサービスインタフェースの入出力XML構造	12
2.2.3 業務アプリケーション(サービス) 類型2Bのサービスインタフェースの入出力XML	14
3. DBアクセス基盤サービス	17
3.1 DBアクセス基盤サービスのサービスインタフェース	17
3.1.1 DBアクセス基盤サービスのサービスインタフェースのURI	17
3.1.2 DBアクセス基盤サービスのサービスインタフェースのXML構造	18
3.1.3 DBアクセス基盤サービスのサービスインタフェースのXML例	23

1. ビジネスフロー管理

1.1 ビジネスフロー管理のサービスインタフェース

1.1.1 ビジネスフロー管理のサービスインタフェースのURI

本項では、本冊「規約:3.2.1-4 ビジネスフロー管理のサービスインタフェース」のサービスインタフェースのURIを、「表 1.1-1 URI:ビジネスフロー管理のサービスインタフェース1」及び「表 1.1-2 URI:ビジネスフロー管理のサービスインタフェース2」に示す。

表 1.1-1 URI:ビジネスフロー管理のサービスインタフェース1

項番	サービスインタフェース種別	URI
1	ビジネスプロセスインスタンス生成	http://[サブシステム識別子].BusinessFlowKanri.jpo.go.jp/ [ビジネスプロセス識別子]/[業務キー]?riyousyaSikibetuJouhou=[利用者識別情報]
2	ビジネスプロセスインスタンス削除	http://[サブシステム識別子].BusinessFlowKanri.jpo.go.jp/ [ビジネスプロセス識別子]/[業務キー]?riyousyaSikibetuJouhou=[利用者識別情報]
3	フローノードインスタンス状態提供	http://[サブシステム識別子].BusinessFlowKanri.jpo.go.jp/ [ビジネスプロセス識別子]/[業務キー]/[フローノード識別子]?riyousyaSikibetuJouhou=[利用者識別情報]

表 1.1-2 URI:ビジネスフロー管理のサービスインタフェース2

項 番	サービスインタ フェース種別	URI
1	タスク位置検索	http://[サブシステム識別子].BusinessFlowKanri.jpo.go.jp/ taskItiKensaku?businessProcessSikibetusi=[ビジネスプロセス識別子]&gyoumuKey=[業務キー]&riyousyaSikibetuJouhou=[利用者識別情報]
2	業務キー検索	http://[サブシステム識別子].BusinessFlowKanri.jpo.go.jp/ gyoumuKeyKensaku?businessProcessSikibetusi=[ビジネスプロセス識別子]&flowNodeSikibetusi=[フローノード識別子]&riyousyaSikibetuJouhou=[利用者 識別情報]
3	通知	http://[サブシステム識別子].BusinessFlowKanri.jpo.go.jp/ tuuti?businessProcessSikibetusi=[ビジネスプロセス識別子]&gyoumuKey=[業務キー]&flowNodeSikibetusi=[フローノード識別子]&riyousyaSikibetuJouhou =[利用者識別情報]
4	タスク完了	http://[サブシステム識別子].BusinessFlowKanri.jpo.go.jp/ taskKanryou?businessProcessSikibetusi=[ビジネスプロセス識別子]&gyoumuKey=[業務キー]&flowNodeSikibetusi=[フローノード識別子]&riyousyaSikibet uJouhou=[利用者識別情報]
5	ロック設定	http://[サブシステム識別子].BusinessFlowKanri.jpo.go.jp/ lockSettei?businessProcessSikibetusi=[ビジネスプロセス識別子]&gyoumuKey=[業務キー]&flowNodeSikibetusi=[フローノード識別子]&riyousyaSikibetuJo uhou=[利用者識別情報]
6	ロック解除	http://[サブシステム識別子].BusinessFlowKanri.jpo.go.jp/ lockKaijo?businessProcessSikibetusi=[ビジネスプロセス識別子]&gyoumuKey=[業務キー]&flowNodeSikibetusi=[フローノード識別子]&riyousyaSikibetuJo uhou=[利用者識別情報]

※上記表内「URI」欄の「taskItiKensaku」、「gyoumuKeyKensaku」、「tuuti」、「taskKanryou」、「lockSettei」、「lockKaijo」は、本冊「表 3.2-2 ビジネスフロー管理のサービスインタフェース 2」内の各サービスインタフェースの入力項目における「サービスインタフェース名」に該当する。

1.1.2 ビジネスフロー管理のサービスインタフェースの入出力XML構造

本項では、本冊「規約:3.2.1-4 ビジネスフロー管理のサービスインタフェース」で入出力XMLがあるサービスインタフェースの入出力XML構造を「表 1.1-3 出力XML構造:フローノードインスタンス状態提供」,「表 1.1-4 出力XML構造:タスク位置検索」及び「表 1.1-5 出力XML構造:業務キー検索」に示す。

表 1.1-3 出力XML構造:フローノードインスタンス状態提供

項番	要素名 L0 L1 L2 L3 L4 L5 L6 L7							必須	繰返	要素の内容	データ型	備考
1	[業務キー区分名].FlowNodeInstanceJoutaiTeikyou											
2	BusinessProcessSikibetusi							○		ビジネスプロセス識別子	文字列	
3	[業務キー区分名]							○		業務キー	文字列	
4	FlowNodeSikibetusi							○		フローノード識別子	文字列	
5	FlowNodeInstanceJoutai							○		フローノードインスタンスの状態	文字列	Ready, InProgress, Completed のいずれかの値を設定する。

※「必須」欄が「○」は、必須で設定する単独項目／グループ項目を示す。

※「繰返」欄が「○」は、繰返し設定が可能な単独項目／グループ項目を示す。

表 1.1-4 出力XML構造:タスク位置検索

項番	要素名								必須	繰返	要素の内容	データ型	備考
	L0	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7					
1	[業務キー区分名]_TaskItiKensaku_Group												
2		[業務キー区分名]_TaskItiKensaku							○	○			
3			BusinessProcessSikibetusi						○		ビジネスプロセス識別子	文字列	
4			[業務キー区分名]						○		業務キー	文字列	
5			FlowNodeSikibetusi						○		フローノード識別子	文字列	

※「必須」欄が「○」は、必須で設定する単独項目／グループ項目を示す。

※「繰返」欄が「○」は、繰返し設定が可能な単独項目／グループ項目を示す。

表 1.1-5 出力XML構造:業務キー検索

項番	要素名								必須	繰返	要素の内容	データ型	備考
	L0	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7					
1	[業務キー区分名]_GyoumuKeyKensaku_Group												
2		[業務キー区分名]_GyoumuKeyKensaku							○	○			
3			BusinessProcessSikibetusi						○		ビジネスプロセス識別子	文字列	
4			[業務キー区分名]						○		業務キー	文字列	
5			FlowNodeSikibetusi						○		フローノード識別子	文字列	

※「必須」欄が「○」は、必須で設定する単独項目／グループ項目を示す。

※「繰返」欄が「○」は、繰返し設定が可能な単独項目／グループ項目を示す。

1.1.3 ビジネスフロー管理のサービスインタフェースの入出力XML例

本項では、「1.1.2 ビジネスフロー管理のサービスインタフェースの入出力XML構造」で規定した各入出力XMLの例を示す。

リスト 1.1-1 出力XML例:フローノードインスタンス状態提供

XML例1:ビジネスフローの業務キーが「特許出願番号」の場合

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<TokkyoSyutuganBangou_FlowNodeInstanceJoutaiTeikyou xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="/TokkyoSyutuganBangou_FlowNodeInstanceJoutaiTeikyou.xsd">
  <BusinessProcessSikibetusi>bp001</BusinessProcessSikibetusi>
  <TokkyoSyutuganBangou>001-2020123456</TokkyoSyutuganBangou>
  <FlowNodeSikibetusi>fn001</FlowNodeSikibetusi>
  <FlowNodeInstanceJoutai>InProgress</FlowNodeInstanceJoutai>
</TokkyoSyutuganBangou_FlowNodeInstanceJoutaiTeikyou>
```

この例の場合、業務キーは、「業務キー区分コード（3桁）+"-"+出願番号」で表現している。

XML例2:ビジネスフローの業務キーが「審判番号」の場合

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<SinpanBangou_FlowNodeInstanceJoutaiTeikyou xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="/SinpanBangou_FlowNodeInstanceJoutaiTeikyou.xsd">
  <BusinessProcessSikibetusi>bp002</BusinessProcessSikibetusi>
  <SinpanBangou>005-2020123456</SinpanBangou>
  <FlowNodeSikibetusi>fn004</FlowNodeSikibetusi>
  <FlowNodeInstanceJoutai>Completed</FlowNodeInstanceJoutai>
</SinpanBangou_FlowNodeInstanceJoutaiTeikyou>
```

この例の場合、業務キーは、「業務キー区分コード（3桁）+"-"+審判番号」で表現している。

リスト 1.1-2 出力 XML 例:タスク位置検索

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<TokkyoSyutuganBangou_TaskItiKensaku_Group xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="/TokkyoSyutuganBangou_TaskItiKensaku.xsd">

  <TokkyoSyutuganBangou_TaskItiKensaku>
    <BusinessProcessSikibetusi>bp001</BusinessProcessSikibetusi>
    <TokkyoSyutuganBangou>001-2020123456</TokkyoSyutuganBangou>
    <FlowNodeSikibetusi>fn01</FlowNodeSikibetusi>
  </TokkyoSyutuganBangou_TaskItiKensaku>

  <TokkyoSyutuganBangou_TaskItiKensaku>
    <BusinessProcessSikibetusi>bp001</BusinessProcessSikibetusi>
    <TokkyoSyutuganBangou>001-2020123456</TokkyoSyutuganBangou>
    <FlowNodeSikibetusi>fn02</FlowNodeSikibetusi>
  </TokkyoSyutuganBangou_TaskItiKensaku>

</TokkyoSyutuganBangou_TaskItiKensaku_Group>
```

入力項目と一致するビジネスプロセスインスタンスのタスク位置が複数存在する場合は、繰返し設定される。

リスト 1.1-3 出力 XML 例:業務キー検索

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<TokkyoSyutuganBangou_GyoumuKeyKensaku_Group xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="/TokkyoSyutuganBangou_GyoumuKeyKensaku.xsd">

  <TokkyoSyutuganBangou_GyoumuKeyKensaku>
    <BusinessProcessSikibetusi>bp001</BusinessProcessSikibetusi>
    <FlowNodeSikibetusi>fn01</FlowNodeSikibetusi>
    <TokkyoSyutuganBangou>001-2020123456</TokkyoSyutuganBangou>
  </TokkyoSyutuganBangou_GyoumuKeyKensaku>

  <TokkyoSyutuganBangou_GyoumuKeyKensaku>
    <BusinessProcessSikibetusi>bp001</BusinessProcessSikibetusi>
    <FlowNodeSikibetusi>fn01</FlowNodeSikibetusi>
    <TokkyoSyutuganBangou>001-2020123456</TokkyoSyutuganBangou>
  </TokkyoSyutuganBangou_GyoumuKeyKensaku>

</TokkyoSyutuganBangou_GyoumuKeyKensaku_Group>
```

入力項目に該当する業務キーが複数存在する場合は、繰返し設定される。

2. 業務アプリケーション(サービス)

2.1 業務アプリケーション(サービス)類型1のサービスインタフェース

2.1.1 業務アプリケーション(サービス)類型1のサービスインタフェースのURI

本項では、本冊「規約:3.2.2-5 業務アプリケーション(サービス)類型1のサービスインタフェース」のサービスインタフェースのURIを、「表 2.1-1 URI:業務アプリケーション(サービス)類型1のサービスインタフェース」に示す。

表 2.1-1 URI:業務アプリケーション(サービス)類型1のサービスインタフェース

項番	サービスインタフェース種別	URI
1	業務処理	http://[サブシステム識別子].GyoumuApplication.jpo.go.jp/ [サービスインタフェース名]/[バージョン]?gyoumuKey=[業務キー]&riyousyaSikibetuJouhou=[利用者識別情報]
2	分岐条件情報の提供	http://[サブシステム識別子].GyoumuApplication.jpo.go.jp/ [サービスインタフェース名]/[バージョン]?gyoumuKey=[業務キー]&riyousyaSikibetuJouhou=[利用者識別情報]
3	連携先業務キーの提供	http://[サブシステム識別子].GyoumuApplication.jpo.go.jp/ [サービスインタフェース名]/[バージョン]?gyoumuKey=[業務キー]&riyousyaSikibetuJouhou=[利用者識別情報]

2.1.2 業務アプリケーション(サービス)類型1のサービスインタフェースの入出力XML構造

本項では、本冊「規約:3.2.2-5 業務アプリケーション(サービス)類型1のサービスインタフェース」で入出力XMLがあるサービスインタフェースの入出力XML構造を、「表 2.1-2 出力XML構造:分岐条件情報の提供」、「表 2.1-3 出力XML構造:連携先業務キーの提供」に示す。

表 2.1-2 出力XML構造:分岐条件情報の提供

項番	要素名								必須	繰返	要素の内容	データ型	備考
	L0	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7					
1	[サブシステム識別子].[サービスインタフェース名].BunkiJoukenJouhouTeikyou												
2		[業務キー区分名]							○		業務キー	文字列	
3		BunkiJoukenJouhou							○		分岐条件情報	文字列	

※「必須」欄が「○」は、必須で設定する単独項目／グループ項目を示す。

※「繰返」欄が「○」は、繰返し設定が可能な単独項目／グループ項目を示す。

表 2.1-3 出力XML構造:連携先業務キーの提供

項番	要素名								必須	繰返	要素の内容	データ型	備考
	L0	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7					
1	[サブシステム識別子].[サービスインタフェース名].RenkeisakiGyoumuKeyTeikyou_Group												
2		[サブシステム識別子].[サービスインタフェース名].RenkeisakiGyoumuKeyTeikyou							○	○			
3			RenkeiMotoGyoumuKey						○				
4				[業務キー区分名]					○		業務キー(連携元)	文字列	
5			RenkeiSakiGyoumuKey						○				
6				[業務キー区分名]					○		業務キー(連携先)	文字列	

※「必須」欄が「○」は、必須で設定する単独項目／グループ項目を示す。

※「繰返」欄が「○」は、繰返し設定が可能な単独項目／グループ項目を示す。

2.1.3 業務アプリケーション(サービス)類型1のサービスインタフェースの入出力XML例

本項では、「2.1.2 業務アプリケーション(サービス)類型1のサービスインタフェースの入出力XML構造」で規定した各入出力XMLの例を示す。

リスト 2.1-1 出力XML例:分岐条件情報の提供

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<WEP_HousikiTuutiJuri_BunkiJoukenJouhouTeikyou xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xsi:schemaLocation="/WEP_HousikiTuutiJuri_BunkiJoukenJouhouTeikyou.xsd">
  <TokkyoSyutuganBangou>001-2020123456</TokkyoSyutuganBangou>
  <BunkiJoukenJouhou>2</BunkiJoukenJouhou>
</WEP_HousikiTuutiJuri_BunkiJoukenJouhouTeikyou>
```

リスト 2.1-2 出力XML例:連携先業務キーの提供

この例の場合，[サービスインタフェース名] は特許出願番号に紐付く
審判番号を取得するサービスインタフェースの名称で設定している。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
```

```
<WEP_HousikiTuutiJuri_RenkeisakiGyoumuKeyTeikyou_Group xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xsi:schemaLocation="/WEP_HousikiTuutiJuri_RenkeisakiGyoumuKeyTeikyou.xsd">
```

```
<WEP_HousikiTuutiJuri_RenkeisakiGyoumuKeyTeikyou_>
  <RenkeiMotoGyoumuKey>
    <TokkyoSyutuganBangou>001-2020123456</TokkyoSyutuganBangou>
  </RenkeiMotoGyoumuKey>
  <RenkeiSakiGyoumuKey>
    <SinpanBangou>005-2020123456</SinpanBangou>
  </RenkeiSakiGyoumuKey>
</WEP_HousikiTuutiJuri_RenkeisakiGyoumuKeyTeikyou>
```

```
<WEP_HousikiTuutiJuri_RenkeisakiGyoumuKeyTeikyou>
  <RenkeiMotoGyoumuKey>
    <TokkyoSyutuganBangou>001-2020123456</TokkyoSyutuganBangou>
  </RenkeiMotoGyoumuKey>
  <RenkeiSakiGyoumuKey>
    <SinpanBangou>005-2020123457</SinpanBangou>
  </RenkeiSakiGyoumuKey>
</WEP_HousikiTuutiJuri_RenkeisakiGyoumuKeyTeikyou>
```

```
</WEP_HousikiTuutiJuri_RenkeisakiGyoumuKeyTeikyou_Group>
```

入力項目に該当する業務キー(連携先)が
複数ヒットする場合は、繰返し設定される。

2.2 業務アプリケーション(サービス)類型2Bのサービスインタフェース

2.2.1 業務アプリケーション(サービス)類型2BのサービスインタフェースのURI

本項では、本冊「規約:3.2.2-7 業務アプリケーション(サービス)類型2Bのサービスインタフェース」のサービスインタフェースのURIを、「表 2.2-1 URI:業務アプリケーション(サービス)類型2Bのサービスインタフェース」に示す。

表 2.2-1 URI:業務アプリケーション(サービス)類型2Bのサービスインタフェース

項番	サービスインタフェース種別	URI
1	新着情報提供	http://[サブシステム識別子].GyoumuApplication.jpo.go.jp/ sintyakuJouhouTeikyou/[バージョン]?dentatuJouhouSyubetu=[伝達情報種別]&timeStamp=[タイムスタンプ]&riyousyaSikibetuJouhou=[利用者識別情報]
2	伝達情報提供(業務キー指定)	http://[サブシステム識別子].GyoumuApplication.jpo.go.jp/ dentatuJouhouTeikyouGyoumuKeySitei/[バージョン]?dentatuJouhouSyubetu=[伝達情報種別]&gyoumuKey=[業務キー]&riyousyaSikibetuJouhou=[利用者識別情報]
3	伝達情報提供(タイムスタンプ指定)	http://[サブシステム識別子].GyoumuApplication.jpo.go.jp/ dentatuJouhouTeikyouTimeStampSitei/[バージョン]?dentatuJouhouSyubetu=[伝達情報種別]&timeStamp=[タイムスタンプ]&riyousyaSikibetuJouhou=[利用者識別情報]

※上記表内「URI」欄の「sintyakuJouhouTeikyou」、「dentatuJouhouTeikyouGyoumuKeySitei」、「dentatuJouhouTeikyouTimeStampSitei」は、本冊「表 3.2 7 業務アプリケーション(サービス)類型 2B のサービスインタフェース」内の各サービスインタフェースの入力項目における「サービスインタフェース名」に該当する。

2.2.2 業務アプリケーション(サービス)類型2Bのサービスインタフェースの入出力XML構造

本項では、本冊「規約:3.2.2-7 業務アプリケーション(サービス)類型2Bのサービスインタフェース」で入出力XMLがあるサービスインタフェースの入出力XML構造を、「表 2.2-2 出力XML構造:新着情報提供」、「表 2.2-3 出力XML構造:伝達情報提供(業務キー指定)」及び「表 2.2-4 出力XML構造:伝達情報提供(タイムスタンプ指定)」に示す。

表 2.2-2 出力XML構造:新着情報提供

項番	要素名								必須	繰返	要素の内容	データ型	備考
	L0	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7					
1	[業務キー区分名]_SintyakuJouhouTeikyou_Group												
2		[業務キー区分名]_SintyakuJouhouTeikyou							○	○			
3			DentatuJouhouSyubetu						○		伝達情報種別	文字列	
4			[業務キー区分名]						○		業務キー	文字列	
5			TimeStamp						○		タイムスタンプ	文字列	タイムスタンプは YYYYMMDDhhmmssSSS 形式で設定。

※「必須」欄が「○」は、必須で設定する単独項目／グループ項目を示す。

※「繰返」欄が「○」は、繰返し設定が可能な単独項目／グループ項目を示す。

表 2.2-3 出力XML構造:伝達情報提供(業務キー指定)

項番	要素名 L0 L1 L2 L3 L4 L5 L6 L7								必須	繰返	要素の内容	データ型	備考
1	[サブシステム識別子].[伝達情報種別名]_DentatuJouhouTeikyou_Group												
2	[サブシステム識別子].[伝達情報種別名]_DentatuJouhouTeikyou								○	○			
3	DentatuJouhouSyubetu								○		伝達情報種別	文字列	
4	[業務キー区分名]								○		業務キー	文字列	
5	[サブシステム識別子].[伝達情報種別名]_DentatuJouhou								○		伝達情報		
6	※ここに「伝達情報」を設定する。「伝達情報」の構造は「伝達情報種別」によって異なる。 「伝達情報」の構造は、サービスインタフェースを用意する各サブシステム刷新の設計時に XMLSchema を作成することで決定すること。												
7	TimeStamp								○		タイムスタンプ	文字列	タイムスタンプは YYYYMMDDhhmmssSSS 形式で設定。

※「必須」欄が「○」は、必須で設定する単独項目／グループ項目を示す。

※「繰返」欄が「○」は、繰返し設定が可能な単独項目／グループ項目を示す。

表 2.2-4 出力XML構造:伝達情報提供(タイムスタンプ指定)

項番	要素名 L0 L1 L2 L3 L4 L5 L6 L7								必須	繰返	要素の内容	データ型	備考
1	[サブシステム識別子].[伝達情報種別名]_DentatuJouhouTeikyou_Group												
2	[サブシステム識別子].[伝達情報種別名]_DentatuJouhouTeikyou								○	○			
3	DentatuJouhouSyubetu								○		伝達情報種別	文字列	
4	[業務キー区分名]								○		業務キー	文字列	
5	[サブシステム識別子].[伝達情報種別名]_DentatuJouhou								○		伝達情報		
6	※ここに「伝達情報」を設定する。「伝達情報」の構造は「伝達情報種別」によって異なる。 「伝達情報」の構造は、サービスインタフェースを用意する各サブシステム刷新の設計時に XMLSchema を作成することで決定すること。												
7	TimeStamp								○		タイムスタンプ	文字列	タイムスタンプは YYYYMMDDhhmmssSSS 形式で設定。

※「必須」欄が「○」は、必須で設定する単独項目／グループ項目を示す。

※「繰返」欄が「○」は、繰返し設定が可能な単独項目／グループ項目を示す。

2.2.3 業務アプリケーション(サービス)類型2Bのサービスインタフェースの入出力XML

本項では、「2.2.2 業務アプリケーション(サービス)類型2Bのサービスインタフェースの入出力XML構造」で規定した各入出力XMLの例を示す。

リスト 2.2-1 出力XML例:新着情報提供

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<TokkyoSytuganBangou_SintyakuJouhouTeikyou_Group xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-
instance" xsi:schemaLocation="/TokkyoSytuganBangou_SintyakuJouhouTeikyou.xsd">

  <TokkyoSytuganBangou_SintyakuJouhouTeikyou>
    <DentatuJouhouSyubetu>AAAAA</DentatuJouhouSyubetu>
    <TokkyoSytuganBangou>001-2020123456</TokkyoSytuganBangou>
    <TimeStamp>20170627123005000</TimeStamp>
  </TokkyoSytuganBangou_SintyakuJouhouTeikyou>

  <TokkyoSytuganBangou_SintyakuJouhouTeikyou>
    <DentatuJouhouSyubetu>AAAAA</DentatuJouhouSyubetu>
    <TokkyoSytuganBangou>001-2020123456</TokkyoSytuganBangou>
    <TimeStamp>20170627123005000</TimeStamp>
  </TokkyoSytuganBangou_SintyakuJouhouTeikyou>

</TokkyoSytuganBangou_SintyakuJouhouTeikyou_Group>
```

入力項目の「伝達情報種別」と一致し、入力項目の「タイムスタンプ」より新しい個別連携一時データが複数存在する場合、新着情報が繰り返し設定される。該当する業務キー(連携先)が複数ヒットする場合は、繰り返し設定される。

リスト 2.2-2 出力XML例:伝達情報提供(業務キー指定)

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<WEP_HousikiTuuti_DentatuJouhouTeikyou_Group xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="/WEP_HousikiTuuti_DentatuJouhouTeikyou.xsd">

  <WEP_HousikiTuuti_DentatuJouhouTeikyou>
    <DentatuJouhouSyubetu>AAAAA</DentatuJouhouSyubetu>
    <TokkyoSyutuganBangou>001-2020123456</TokkyoSyutuganBangou>
    <WEP_HousikiTuuti_DentatuJouhou>
      <DataSikibetuCode>420020</DataSikibetuCode>
    </WEP_HousikiTuuti_DentatuJouhou>
    <TimeStamp>20170627123005000</TimeStamp>
  </WEP_HousikiTuuti_DentatuJouhouTeikyou>

</WEP_HousikiTuuti_DentatuJouhouTeikyou_Group >
```

入力項目で指定した「伝達情報種別」、「業務キー」と一致する伝達情報が複数ある場合は、伝達情報が繰り返し設定される。

「伝達情報」配下の構造は「伝達情報種別」によって異なる。各サブシステムの設計によるため、アーキテクチャ標準仕様書では定義せず、各システム刷新の設計段階で決定する。

リスト 2.2-3 出力XML例:伝達情報提供(タイムスタンプ指定)

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<WEP_HousikiTuuti_DentatuJouhouTeikyou_Group xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="/WEP_HousikiTuuti_DentatuJouhouTeikyou.xsd">

  <WEP_HousikiTuuti_DentatuJouhouTeikyou>
    <DentatuJouhouSyubetu>AAAAA</DentatuJouhouSyubetu>
    <TokkyoSyutuganBangou>001-2020123456</TokkyoSyutuganBangou>
    <WEP_HousikiTuuti_DentatuJouhou>
      <DataSikibetuCode>420020</DataSikibetuCode>
    </WEP_HousikiTuuti_DentatuJouhou>
    <TimeStamp>20170627123005000</TimeStamp>
  </WEP_HousikiTuuti_DentatuJouhouTeikyou>

</WEP_HousikiTuuti_DentatuJouhouTeikyou_Group>
```

入力項目で指定した「伝達情報種別」、「タイムスタンプ」と一致する伝達情報が複数ある場合は、伝達情報が繰り返し設定される。

「伝達情報」配下の構造は「伝達情報種別」によって異なる。各サブシステムの設計によるため、アーキテクチャ標準仕様書では定義せず、各システム刷新の設計段階で決定する。

3. DBアクセス基盤サービス

3.1 DBアクセス基盤サービスのサービスインタフェース

3.1.1 DBアクセス基盤サービスのサービスインタフェースのURI

本項では、本冊「規約:3.2.7-2 DBアクセス基盤サービスのサービスインタフェース」のサービスインタフェースのURIを、「表 3.1-1 URI:DBアクセス基盤サービスのサービスインタフェース」に示す。

表 3.1-1 URI:DBアクセス基盤サービスのサービスインタフェース

項番	サービスインタフェース種別	URI
1	事件データ作成	http://[論理対象ノード].DBAccessKibanService.jpo.go.jp/ [業務キー区分名]/[事件データ種別名]/[バージョン]/[業務キー]?riyousyaSikibetuJouhou=[利用者識別情報]
2	事件データ更新	
3	事件データ削除	
4	事件データ提供	
5	書類データ作成	http://[論理対象ノード].DBAccessKibanService.jpo.go.jp/ syoruiData/[書類データ種別名]/[バージョン]/[業務キー]?riyousyaSikibetuJouhou=[利用者識別情報]
6	書類データ更新	
7	書類データ削除	
8	書類データ提供	

※ただし、利用者端末から直接アクセスの場合、利用者識別情報にログインIDを設定すること。

3.1.2 DBアクセス基盤サービスのサービスインタフェースのXML構造

本項では、本冊「規約:3.2.7-2 DBアクセス基盤サービスのサービスインタフェース2」で入出力XMLがあるサービスインタフェースの入出力XML構造を、「表 3.1-2 入力XML構造:事件データ作成」,「表 3.1-3 入力XML構造:事件データ更新」,「表 3.1-5 出力XML構造:事件データ提供」,「表 3.1-6 入力XML構造:書類データ作成」,「表 3.1-7 入力XML構造:書類データ更新」及び「表 3.1-9 出力XML構造:書類データ提供」に示す。

表 3.1-2 入力XML構造:事件データ作成

項番	要素名								必須	繰返	要素の内容	データ型	備考
	L0	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7					
1	[業務キー区分名].[事件データ種別名].ZikenDataSakusei												
2		[業務キー区分名].[事件データ種別名].ZikenData							○		事件データ		
3													
3-1			※ここに「事件データ」を設定する。「事件データ」の構造は「事件データ種別名」によって異なる。 「事件データ」の構造は、サービスインタフェースを用意するDBアクセス基盤サービスの設計時にXMLSchemaを作成することで決定すること。										
3-2													
3-3													

※「必須」欄が「○」は、必須で設定する単独項目／グループ項目を示す。

※「繰返」欄が「○」は、繰返し設定が可能な単独項目／グループ項目を示す。

表 3.1-3 入力XML構造:事件データ更新

項番	要素名 L0 L1 L2 L3 L4 L5 L6 L7								必須	繰返	要素の内容	データ型	備考
1	[業務キー区分名].[事件データ種別名].ZikenDataKousin												
2	[業務キー区分名].[事件データ種別名].ZikenData								○		事件データ		
3													
3-1	※ここに「事件データ」を設定する。「事件データ」の構造は「事件データ種別名」によって異なる。 「事件データ」の構造は、サービスインタフェースを用意するDBアクセス基盤サービスの設計時に XMLSchemaを作成することで決定すること。												
3-2													
3-3													

※「必須」欄が「○」は、必須で設定する単独項目／グループ項目を示す。

※「繰返」欄が「○」は、繰返し設定が可能な単独項目／グループ項目を示す。

※入力 XML 構造に「排他チェックに必要な情報」を含めること。

表 3.1-4 入力XML構造:事件データ削除

項番	要素名 L0 L1 L2 L3 L4 L5 L6 L7								必須	繰返	要素の内容	データ型	備考
1	[業務キー区分名].[事件データ種別名].ZikenDataSakujo												
2	[業務キー区分名].[事件データ種別名].ZikenData								○		事件データ		
3													
3-1	※ここに「事件データ」を設定する。「事件データ」の構造は「事件データ種別名」によって異なる。 「事件データ」の構造は、サービスインタフェースを用意するDBアクセス基盤サービスの設計時に XMLSchemaを作成することで決定すること。												
3-2													
3-3													

※「必須」欄が「○」は、必須で設定する単独項目／グループ項目を示す。

※「繰返」欄が「○」は、繰返し設定が可能な単独項目／グループ項目を示す。

※入力 XML 構造に「排他チェックに必要な情報」を含めること。

表 3.1-5 出力XML構造:事件データ提供

項番	要素名								必須	繰返	要素の内容	データ型	備考	
	L0	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7						
1	[業務キー区分名]_[事件データ種別名]_ZikenDataTeikyou													
2		[業務キー区分名]							○		業務キー	文字列		
3		ZikenDataSyubetu							○		事件データ種別	文字列		
4		[業務キー区分名]_[事件データ種別名]_ZikenData							○		事件データ			
5														
5-1			※ここに「事件データ」を設定する。「事件データ」の構造は「事件データ種別名」によって異なる。 「事件データ」の構造は、サービスインタフェースを用意する DB アクセス基盤サービスの設計時に XMLSchema を作成することで決定すること。											
5-2														
5-3														

※「必須」欄が「○」は、必須で設定する単独項目／グループ項目を示す。

※「繰返」欄が「○」は、繰返し設定が可能な単独項目／グループ項目を示す。

※出力 XML 構造に「排他チェックに必要な情報」を含めること。

表 3.1-6 入力XML構造:書類データ作成

項番	要素名								必須	繰返	要素の内容	データ型	備考
	L0	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7					
1	[論理対象ノード]_[書類データ種別名]_SyoruiDataSakusei												
2		[論理対象ノード]_[書類データ種別名]_HuzuiJouhou									付随情報		
2-1			※ここに「付随情報」を設定する。「付随情報」の構造は「書類データ種別名」によって異なる。 「付随情報」の構造は、サービスインタフェースを用意する DB アクセス基盤サービスの設計時に XMLSchema を作成することで決定すること。										
3		SyoruiData							○		書類データ	base64binary	”Base64”仕様に準じてエンコードした文字列を設定。

※「必須」欄が「○」は、必須で設定する単独項目／グループ項目を示す。

※「繰返」欄が「○」は、繰返し設定が可能な単独項目／グループ項目を示す。

表 3.1-7 入力XML構造:書類データ更新

項番	要素名 L0 L1 L2 L3 L4 L5 L6 L7									必須	繰返	要素の内容	データ型	備考
1	[論理対象ノード]_[書類データ種別名]_SyoruiDataKousin													
2	[論理対象ノード]_[書類データ種別名]_HuzuiJouhou											付随情報		
2-1			※ここに「付随情報」を設定する。「付随情報」の構造は「書類データ種別名」によって異なる。「付随情報」の構造は、サービスインタフェースを用意するDBアクセス基盤サービスの設計時にXMLSchemaを作成することで決定すること。											
3	SyoruiData									○		書類データ	base64binary	”Base64”仕様に準じてエンコードした文字列を設定。

※「必須」欄が「○」は、必須で設定する単独項目／グループ項目を示す。

※「繰返」欄が「○」は、繰返し設定が可能な単独項目／グループ項目を示す。

※出力 XML 構造に「排他チェックに必要な情報」を含めること。

表 3.1-8 入力XML構造:書類データ削除

項番	要素名 L0 L1 L2 L3 L4 L5 L6 L7									必須	繰返	要素の内容	データ型	備考
1	[論理対象ノード]_[書類データ種別名]_SyoruiDataSakujo													
2	[論理対象ノード]_[書類データ種別名]_HuzuiJouhou											付随情報		
2-1			※ここに「付随情報」を設定する。「付随情報」の構造は「書類データ種別名」によって異なる。「付随情報」の構造は、サービスインタフェースを用意するDBアクセス基盤サービスの設計時にXMLSchemaを作成することで決定すること。											
3	SyoruiData									○		書類データ	base64binary	”Base64”仕様に準じてエンコードした文字列を設定。

※「必須」欄が「○」は、必須で設定する単独項目／グループ項目を示す。

※「繰返」欄が「○」は、繰返し設定が可能な単独項目／グループ項目を示す。

※入力 XML 構造に「排他チェックに必要な情報」を含めること。

表 3.1-9 出力XML構造:書類データ提供

項番	要素名 L0 L1 L2 L3 L4 L5 L6 L7								必須	繰返	要素の内容	データ型	備考
1	[論理対象ノード]_[書類データ種別名]_SyoruiDataTeikyou												
2		SyoruiDataSyubetu							○		書類データ種別	文字列	・SinseiSyorui(申請書類), HassouSyorui(発送書類)及び TyounaiSyorui(庁内書類)のいずれかの値を設定。
3		[業務キー区分名]							○		業務キー	文字列	
4		[論理対象ノード]_[書類データ種別名]_HuzuiJouhou									付随情報		
4-1			※ここに「付随情報」を設定する。「付随情報」の構造は「書類データ種別名」によって異なる。「付随情報」の構造は、サービスインタフェースを用意する DB アクセス基盤サービスの設計時に XMLSchema を作成することで決定すること。										
5		SyoruiData							○		書類データ	base64binary	”Base64”仕様に準じてエンコードした文字列を設定。

※「必須」欄が「○」は、必須で設定する単独項目／グループ項目を示す。

※「繰返」欄が「○」は、繰返し設定が可能な単独項目／グループ項目を示す。

※出力 XML 構造に「排他チェックに必要な情報」を含めること。

3.1.3 DBアクセス基盤サービスのサービスインタフェースのXML例

本項では、「3.1.2 DBアクセス基盤サービスのサービスインタフェースのXML構造」で規定した各入出力XMLの例を示す。

リスト 3.1-1 入力XML例: 事件データ作成

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<TokkyoSytugan_SyutuganKizi_ZikenDataSakusei xmlns:app="http://www.jpo.go.jp/XMLSchema/Application" xmlns:app_pat="http://www.jpo.go.jp/XMLSchema/PatentApplication" xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xsi:schemaLocation="/TokkyoSytugan_SyutuganKizi_ZikenDataSakusei.xsd">
  <TokkyoSytugan_SyutuganKizi_ZikenData>
    <app:SyutuganKizi>
      <app:SyutuganBi>20170401</app:SyutuganBi>
      <app_pat:SyutuganSyubetu1>01</app_pat:SyutuganSyubetu1>
      <app_pat:SyutuganSyubetu2 xsi:nil="true"/>
      <app_pat:SyutuganSyubetu3 xsi:nil="true"/>
      <app_pat:SyutuganSyubetu4 xsi:nil="true"/>
      <app_pat:SyutuganSyubetu5 xsi:nil="true"/>
      <app:SeiriBangou>ABCDE12345</app:SeiriBangou>
      <app:GengoSyutuganFlag>1</app:GengoSyutuganFlag>
    </app:SyutuganKizi>
  </TokkyoSytugan_SyutuganKizi_ZikenData >
</TokkyoSytugan_SyutuganKizi_ZikenDataSakusei>
```

事件データ種別(事件データを作成する単位)を
仮に「出願記事」とした場合のXML例

リスト 3.1-2 入力XML例: 事件データ更新

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<TokkyoSytugan_SytuganKizi_ZikenDataKousin xmlns:app="http://www.jpo.go.jp/XMLSchema/Application" xmlns:app_pat="http://www.jpo.go.jp/XMLSchema/PatentApplication" xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xsi:schemaLocation="/TokkyoSytugan_SytuganKizi_ZikenDataKousin.xsd">
  <TokkyoSytugan_SytuganKizi_ZikenData >
    <app:SytuganKizi>
      <app:SytuganBi>20170401</app:SytuganBi>
      <app_pat:SytuganSyubetu1>01</app_pat:SytuganSyubetu1>
      <app_pat:SytuganSyubetu2 xsi:nil="true"/>
      <app_pat:SytuganSyubetu3 xsi:nil="true"/>
      <app_pat:SytuganSyubetu4 xsi:nil="true"/>
      <app_pat:SytuganSyubetu5 xsi:nil="true"/>
      <app:SeiriBangou>ABCDE12345</app:SeiriBangou>
      <app:GengoSytuganFlag>1</app:GengoSytuganFlag>
    </app:SytuganKizi>
  </TokkyoSytugan_SytuganKizi_ZikenData >
</TokkyoSytugan_SytuganKizi_ZikenDataKousin>

```

事件データ種別(事件データを作成する単位)を
 仮に「出願記事」とした場合のXML例

リスト 3.1-3 出力XML例:事件データ提供

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<TokkyoSytugan_SyutuganKizi_ZikenDataTeikyou xmlns:app="http://www.jpo.go.jp/XMLSchema/Application"
xmlns:app_pat="http://www.jpo.go.jp/XMLSchema/PatentApplication" xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XM
LSchema-instance" xsi:schemaLocation="/TokkyoSytugan_SyutuganKizi_ZikenDataTeikyou.xsd">
  <TokkyoSytuganBangou>001-2020123456</TokkyoSytuganBangou>
  <ZikenDataSyubetu>syutugankizi</ZikenDataSyubetu>
  <TokkyoSytugan_SyutuganKizi_ZikenData >
    <app:SyutuganKizi>
      <app:SyutuganBi>20170401</app:SyutuganBi>
      <app_pat:SyutuganSyubetu1>01</app_pat:SyutuganSyubetu1>
      <app_pat:SyutuganSyubetu2 xsi:nil="true"/>
      <app_pat:SyutuganSyubetu3 xsi:nil="true"/>
      <app_pat:SyutuganSyubetu4 xsi:nil="true"/>
      <app_pat:SyutuganSyubetu5 xsi:nil="true"/>
      <app:SeiriBangou>ABCDE12345</app:SeiriBangou>
      <app:GengoSyutuganFlag>1</app:GengoSyutuganFlag>
    </app:SyutuganKizi>
  </TokkyoSytugan_SyutuganKizi_ZikenData >
</TokkyoSytugan_SyutuganKizi_ZikenDataTeikyou>

```

事件データ種別(事件データを作成する単位)を
仮に「出願記事」とした場合のXML例

リスト 3.1-4 出力XML例:書類データ作成

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<TokkyoSytuganNode_SinseiSyorui_SyoruiDataSakusei xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="/TokkyoSytuganNode_SinseiSyorui_SyoruiDataSakusei.xsd">
  <TokkyoSytuganNode_SinseiSyorui_HuzuiJouhou>
    <UketukeKeitai>005</UketukeKeitai>
    <MeisaisyoUmu>1</MeisaisyoUmu>
    <SeikyuunohaniUmu>1</SeikyuunohaniUmu>
    <ZumenUmu>1</ZumenUmu>
    <YouyakusyoUmu>1</YouyakusyoUmu>
    :
  </TokkyoSytuganNode_SinseiSyorui_HuzuiJouhou>
  <SyoruiData>PD94bWwgdmVyc2lvcj0iMS4wIiBlbmNvZGluZz0iU2hpZnRfSkIj8+PCFET0NUWVBFIGpwOnBhd
C1hcHZG9jIFBVQkxJQyAiLS8vS1BPLy9EVEQgUEFURU5UIEFQUEExJQ0FUSU9OIERPQ1VNRU5UIDEuMC8v4iI
CJwYXQtYXBwZC5kdGQiFtdPg== ... </SyoruiData>
</TokkyoSytuganNode_SinseiSyorui_SyoruiDataSakusei>
```

リスト 3.1-5 出力XML例:書類データ更新

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<TokkyoSytuganNodeSinseiSyorui_SyoruiDataKousin xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instanc
e" xsi:schemaLocation="/TokkyoSytuganNodeSinseiSyorui_SyoruiDataKousin.xsd">
  <TokkyoSytuganNode_SinseiSyorui_HuzuiJouhou
    <UketukeKeitai>005</UketukeKeitai>
    <MeisaisyoUmu>1</MeisaisyoUmu>
    <SeikyuunohaniUmu>1</SeikyuunohaniUmu>
    <ZumenUmu>1</ZumenUmu>
    <YouyakusyoUmu>1</YouyakusyoUmu>
    :
  </TokkyoSytuganNode_SinseiSyorui_HuzuiJouhou>
  <SyoruiData>PD94bWwgdmVyc2lvcj0iMS4wIiBlbmNvZGluZz0iU2hpZnRfSkIj8+PCFET0NUWVBFIGpwOnBhd
C1hcHZG9jIFBVQkxJQyAiLS8vS1BPLy9EVEQgUEFURU5UIEFQUEExJQ0FUSU9OIERPQ1VNRU5UIDEuMC8v4iI
CJwYXQtYXBwZC5kdGQiFtdPg== ... </SyoruiData>
</TokkyoSytuganNode_SinseiSyorui_SyoruiDataKousin>
```

リスト 3.1-6 出力 XML 例:書類データ提供

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<TokkyoSyutuganNode_SinseiSyorui_SyoruiDataTeikyou xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-
instance" xsi:schemaLocation="/TokkyoSyutuganNodeSinseiSyorui_SyoruiDataTeikyou.xsd">
  <SyoruiDataSyubetu>SinseiSyorui</SyoruiDataSyubetu>
  <TokkyoSyutuganBangou>001-2020123456</TokkyoSyutuganBangou>
  <TokkyoSyutuganNode_SinseiSyorui_HuzuiJouhou>
    <UketukeKeitai>005</UketukeKeitai>
    <MeisaisyoUmu>1</MeisaisyoUmu>
    <SeikyuunohaniUmu>1</SeikyuunohaniUmu>
    <ZumenUmu>1</ZumenUmu>
    <YouyakusyoUmu>1</YouyakusyoUmu>
    :
  </TokkyoSyutuganNode_SinseiSyorui_HuzuiJouhou>
  <SyoruiData>PD94bWwgdmVyc2lrbj0iMS4wIiBlbmNvZGluZz0iU2hpZnRfSkIj8+PCFET0NUWVBFIGpwOnBhd
C1hcHZG9jIFBVQkxJQyAiLS8vS1BPLy9EVEQgUEFURU5UIEFQUEXJQ0FUSU9OIERPQ1VNRU5UIDEuMC8v4iI
CJwYXQtYXBwZC5kdGQiIFtdPg== ... </SyoruiData>
</TokkyoSyutuganNode_SinseiSyorui_SyoruiDataTeikyou>
```

以上